

○新クリーンセンター建設問題について

<質問>

新クリーンセンターの操業開始について、平成19年4月ということが最大の根拠とされて、計画がすすめられてきた。ここにきて現クリーンセンターの2年間操業延長を地元に応し込むということが言われているが、2年間の延長というのは事実上平成19年3月建設完了、4月操業開始は不可能となったとの判断をしたと受け止めていいのか。その場合、何が問題で不可能となったのか。2年間の延長とした根拠について、建設が計画通りにすすまなかった場合のごみ処理はどうするのか見解を伺います。

<市長答弁>

平成19年4月稼働を大前提にして、住民のみなさんと取り組んできた。4年の歳月を経てようやくまとめ上げた計画書を県経由で国に提出したが、県では一部住民の公害調停申請を理由に国にあげず、公害調停が終わっても、住民監査請求、住民訴訟反対運動があるなか、知事もそれに同調し、岳北の計画に懸念があるとし、事業をとめたままの状況となっている。家庭ごみの処理は市町村の責任であり、一日も早く計画書を国にあげるよう要請してきたが、状況は好転せず一年が過ぎ、来年春の稼働は不可能になったと判断した。来年以降のごみ処理について検討したが、責任ある処理方法として、地元との約束をまげて、現施設の稼働延長をお願いするとの決断をした。万が一新施設の建設ができない場合には民間への委託も必要と考えている。

○千曲川の治水対策について

<質問>

千曲川の土砂堆積は今や長野盆地にまで延長していると考えられる。中州の拡大・中小河川での千曲川増水時の逆流等は、狭窄部が上流の流れを妨げ、土砂の堆積を重ね、さらに上流に影響を及ぼしている結果であると考え。千曲川流域市町村が団結し、沿線住民が協力し合って、全千曲川流域の抜本的治水対策、河川改修に取り組むよう、飯山市から呼びかけを行っていただきたい。

<答弁>

現在も「千曲川改修期成同盟会」「北信地域千曲川等改修期成同盟会」において、築堤・護岸工・河道掘削・狭窄部拡幅等、河川改修の要望などを行い、国交省・財務省・県選出国會議員等への提言をしている。飯山市でも「千曲川等災害対策連絡協議会」「千曲川・信濃川直轄河川編入連絡協議会」を組織し、市内の改修要望や、県管理区間の湯滝下流区間の国直轄編入と築堤等の整備改修の要望をしている。今後は浅川関係の内水対策を含め、上流域の関係市町村と共に河川改修整備を関係機関に要望していく。

編集後記

6月議会における「議会だより」の編集作業中に、ショックなニュースが目に見え込んできました。よりによって知事選の告示前後にして…。

1つは、7月19日に向け、県内に大きな被害をもたらした豪雨災害。土石流で尊い人命が失われました。また天竜川の決壊や千曲川の増水による農地の冠水被害等々。

2つは、日経新聞7月21日(金)に、「自治体に破綻の足音」として「借金膨大、苦しい台所」。「夕張市財政再建団体へ」。住民1人当たりの潜在債務ランキング「飯山市は全国で13番目」に位置しているとの記事でありました。

地域住民が安全に安心して暮らせる地方政治や地方自治のあり方と、私たち1人ひとりの真実を見抜く力が問われています。行政や議会の責任の重さを認識するに余りある2つのマスコミ報道でありました。議会だよりが皆様に届く頃は、長野県知事も決まり、県民の民意となることでしょう。

議会だより編集副委員長

坪根 繁喜

■水野英夫議員
①教育問題について

■小林喜美治議員
①政治姿勢について

②福祉施策について

③新幹線飯山駅と地域発展について

④総合福祉センターの移転問題について

⑤新クリーンセンター建設問題について

⑥教育基本法改正問題における市教委の見解について

■山崎一郎議員

①平成17年度決算見込みにについて

②自立計画と市政の見通しについて

③新幹線飯山駅と地域発展について

④都市計画道路について

⑤都市計画法の改正とまちづくり3法について

⑥山枯れの原因調査について

■大野峰太郎議員

①近隣市町村との連携強化について

②防災対策の強化について

■水野晴光議員
①農業問題について
②新幹線関連について
③本年度事業について

■坪根繁喜議員

①木内市政4年間における主要な課題に対する総括について

②広域行政について

③上水道水源「謙信峠清水」の枯渇について

■佐藤正夫議員

①市政4年を振り返って

②市内中学校の統合について

③農業振興について

④除雪について

⑤新幹線トンネル工事に伴う水枯れについて

■西條豊致議員

①樽川堤防の強化について

②中央橋の架け替えについて

■大塚武志議員

①新幹線飯山トンネルによる水枯れについて

②障害者自立支援法について

③外様・柳原保育園統合について

④18豪雪による農作物災害について

⑤大川地区合併浄化槽について

■久保田幸治議員

①新幹線飯山駅周辺整備について

②除雪対策について

■渡邊吉晴議員

①水害対策について

②新幹線駅前整備計画について

③デマンドバスの運行について

④保育園の施設管理体制について

■小林初子議員

①福祉行政について

②教育行政について

③少子化対策について

④高校問題について

■高橋正治議員

①固定資産税の評価について

②農政について

③飯山堆肥センター問題について

④高校問題について

一般質問

通告一覧・複数の議員からなされた質問と答弁

○総合福祉センターの移転問題について

<質問>

総合福祉センターの移転について、現在2カ所の候補地をあげ、位置について検討してきたが、駅西については、新幹線駅の開業もふまえ、まちづくりの観点からの土地利用を考え、移転先としては須田峰に決定したとの報告がありましたが、どういう協議の過程をへて決定したのか。6月の補正予算で、取り付け道路の改良事業の設計測量費・用地測量費として460万円の補正予算が計上されていますが、市民のみなさんからは、また須田峰ありきで進んでしまうのではないかと意見が寄せられています。もっと時間をかけ住民合意を得るよう努力し、慎重にすすめるべきではないか。

<市長答弁>

3月と5月の社会福祉協議会の理事会・評議員会でご意見をいただき、さらに関係者のご意見をお聞きするなかで、市として最終的に飯山駅西は新幹線開業を考えた土地利用のために残し、総合福祉センターは須田峰に移転整備することとさせていただきます。道路整備については、この決定に基づき道路改良が必要との判断から要求させていただいたものです。